

この度は、徳島大学病院での気管挿管実習にあたって、麻酔科スタッフをはじめ病院関係者には御指導、御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

実習前には、研修機関や職場においてシミュレーション等を繰り返し行い、ある程度自信を持って臨んだつもりでしたが、いざ手術室で実際に挿管を行おうとすると患者様それぞれに口の大きさや口腔内の見え方が異なり、

最初のうちは無事挿管できていることを確認するまでは緊張でいっぱいでした。しかしながら、サポートしていただいた先生方からの実習中および実習後のきめ細やかな御指導のおかげで、回数が進むにつれて手技がスムーズに行えるようになったことを実感できるようになり、気がつけば僅か1ヶ月で無事30症例を終えることができました。

このような順調な進行には、同意を頂くにあたり担当の先生方に手術の合間の貴重な時間を患者様の丁寧な説明に費やしていただき患者様の不安を取り除いてくださったこと、また、患者様からも快く同意して下さっただけでなく、実習修了後には励ましの言葉を頂くなど、様々な方からの心使いを頂けたことが大きく影響したとあらためて実感しています。

今回の貴重な経験を基に、現場に戻っての救急業務の中で、一人でも多くの方を救命できるよう頑張っていきたいと考えております。



徳島市消防局
救急救命士 高橋 正治